

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年11月05日

計画の名称	15 高速道路ICへのアクセス向上による地域活性化支援 (期)											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	鳥取県, 琴浦町											
計画の目標	「山陰自動車道」などの高規格幹線道路とそれを補完する地域高規格道路など、着実に整備が進められている高速道路ネットワークの整備に合わせ、高速道路ICへのアクセス道路整備を推進することで高速道路整備の効果を最大限に発揮し、広域観光支援など活力ある地域づくりのための基盤整備を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	960	A	960	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R2末	R4末
1	ICアクセスの時間短縮について、0時間・台/日(当初)から2,519・台/日(R4)に増加(2,519時間・台/日の増加) 道路整備に伴うICへのアクセス短縮時間に各地点の交通量を乗じることにより、IC利用における1日の総短縮時間を算定。 [要素事業による短縮時間×当該地点交通量]	0時間・台/日	2430時間・台/日	2519時間・台/日
2	県内への観光入込客数1,021万人(H26-H28の平均)から1,072万人(R4)に増加(51万人(5%)の増加) 県内への観光入り込み客数を集計。 (観光入込客数の増加割合) = (評価時点の観光入込客数 - H26-H28の年間平均観光入込客数) / (H26-H28の年間平均観光入込客数)	1021万人	1052万人	1072万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	鳥取県	直接	-		国道	改築	(国)181号(岸本BP)	バイパス L=5,720m	伯耆町~米子市						925	-	-
		R2~: P22, R3~: P25																		
	A01-002	道路	一般	鳥取県	直接	-		都道府 県道	改築	(一)仙隠岡田線(北野 工区)	バイパス L=1,220m	倉吉市						20	-	-
		~H29:P7、R3~: P25																		
	A01-003	道路	一般	琴浦町	直接	-		市町村 道	改築	(2)別所中線	現道拡幅 L=530m	琴浦町						12	-	-
		~H29:P7																		
	A01-004	道路	一般	琴浦町	直接	-		市町村 道	改築	(2)別所東線	現道拡幅 L=250m	琴浦町						3	-	-
		-																		
												小計						960		
												合計						960		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 整備計画構成自治体・団体 (鳥取県、琴浦町)	事後評価の実施時期 令和6年9月
	公表の方法 鳥取県ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	(国)181号(岸本BP)のバイパスを整備し、アクセス時間短縮に寄与した。 (町)別所中線の現道拡幅を整備し、アクセス時間短縮に寄与した。 (町)別所東線の現道拡幅を整備し、アクセス時間短縮に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	高速道路ICアクセス道路整備を行い、事故の危険性が低下している。
特記事項(今後の方針等)	
今後も継続して高速道路ICアクセス道路の整備を実施し、活力ある地域づくりのための基盤整備を行っていく。 (一)仙隠岡田線(北野工区):引き続き整備中であり、令和6年度完成予定。(供用開始は令和6年度中を予定)	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標（IC利用における1日のアクセス総短縮時間）	
	最終目標値	2519時間・台/日
	最終実績値	2430時間・台/日
用地交渉の長期化によって事業期間の延伸を行ったことによる。		
2	指標（県内への観光入り込み客数）	
	最終目標値	1072万人
	最終実績値	970万人
最終目標の評価時期である令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。		